

半田の醸造業を繁栄させた半田運河

古くから醸造業が盛んな知多半島。その繁栄を加速させたのが、半田運河です。江戸時代、半田運河沿いの醸造蔵でつくられた酒や酢などが、廻船で江戸へどんどん出荷されていきました。なかでも、ミツカングループの創業者 初代中野又左衛門が、あまり使い道のなかった酒粕から作った粕酢は、高価な米酢に変わる手軽な材料として、江戸で「握りずし(早ずし)」が大流行するきっかけとなりました。



半田運河沿いには、今でも黒板囲いの醸造蔵や豪商の邸宅が立ち並び、往時の情景を感じます。市外の友達や家族が半田市に来られた際は、ぜひ半田の醸造文化を紹介しながら、半田運河沿いをお散歩してみてください♪



半田の発酵・醸造文化を学んでみませんか



食文化を見て、さわって、楽しめる体験型博物館

ミツカンミュージアム

開館時間 9時30分～17時
(最終受付15時15分)

場 所 中村町2-6

休 館 日 木曜日、年末年始、お盆期間



日本酒の文化と知多酒の歴史をたどる

国盛 酒の文化館

開館時間 10時～16時(最終受付15時30分)

場 所 東本町2-24

休 館 日 木曜日(祝日の場合は翌日)、
年末年始、お盆期間



半田運河エリアのまちづくり拠点

すぺーすうんが
— unga

半田の発酵・醸造文化を発信しています。

営業時間 10時～16時

場 所 中村町1-40 国指定重要文化財小栗家住宅内

休 業 日 年末年始

